



# 緑陰通信

～県立図書館に行こう～

## News from the shade of trees

- 伊藤一彦県立図書館名誉館長特別寄稿(第2回)……………P 1
- 「かば先生文庫」大人気! & 企画展「杉田文庫の世界」…P 2
- 「やまびこ」1年の軌跡 & 第3回緑陰コンサート……………P 3
- 新着図書案内! & 図書館利用マナーアップのお願い……………P 4

### 【連絡先】

宮崎県立図書館  
総務・企画課  
TEL: 0985-29-2956

## 伊藤一彦県立図書館名誉館長特別寄稿 (第2回)

### 「本とともに 一昔も今も」

伊藤 一彦

昨年の11月に県立図書館で、牧水賞受賞の歌人大口玲子さんと「読書と表現と人生」の対談をおこなった。お互いの読書体験を中心に話しあったのだが、大口さんの豊かな読書体験を聞きながら、彼女の人生の根底には多数の本があるのだなということであらためて思った。

大口さんに質問されて、私も若い日に読んだ本をあれこれ思い出した。私は高校時代に学校の勉強はあまりせず、好きな本をもっぱら読むことで時間を費やしていた。それらの本のなかで対談の当日に、50数年前の愛読書を持参した。昭和35年に角川書店から出版された「人生論読本」である。このシリーズのねらいは「現代日本を代表する12人の文学者、思想家の文芸作品や評論、随想などに述べられた人生語録を対話風に編集し、そのゆたかな思想を楽しみ、炉辺談話を聞く」ということにあり、私は12冊を愛読した。高校2年生のときである。12人とは、夏目漱石・芥川龍之介・島崎藤村・太宰治・倉田百三・小林秀雄・武者小路実篤などで、このなかの倉田百三を読んだことは哲学への関心となり、やがて早稲田の哲学科に進学することにつながったと思う。

昔ばなしはこれくらいにして話題を変えよう。数年前から私は読売文学賞作品の選考という責任の重い光栄な仕事をさせてもらっている。読売文学賞は6部門ある。「小説」「戯曲・シナリオ」「随筆・紀行」「評論・伝記」「詩歌俳句」「研究・翻訳」の6部門である。選考委員は池澤夏樹・小川洋子・荻野アンナ・川本三郎・高橋睦郎・辻原登・沼野充義・野田秀樹・松浦寿輝・山崎正和という、今の日本の文学界を代表する錚々たるメンバーである。12月の初めにこれらの委員による第1回選考委員会が開かれ、各部門数冊、全部門で30冊ほどの候補作を決める。そして、1月の半ばすぎに最終選考会となる。委員はそのときまでに約30冊を読んで自分の意見をまとめておくのである。この委員を担当するようになって、私の年末年始はひたすら読書となった。1日に1冊ぐらいのペースで読まないで30冊を読了しないので大変だが、どの本も1次選考会を通過しているだけに読みごたえがあって面白い。

65回目となる今年の実賞作は、小説が村田喜代子氏の『ゆうじょこう』(新潮社)、随筆・紀行が旦敬介氏の『旅立つ理由』(岩波書店)と榎木伸明氏の『アイルランドモノ語り』(みすず書房)、評論・伝記が小笠原豊樹氏の『マヤコフスキー事件』(河出書房新社)、詩歌俳句が高野ムツオ氏の句集『萬の翅』(角川学芸出版)、研究・翻訳が中務哲郎氏訳の『ヘシオドス全作品』(京大学術出版会)に決まった。どの本も皆さんにお薦めしたいが、あえて2冊にしよれば、村田さんの小説『ゆうじょこう』(熊本遊郭が舞台)と旦さんの『旅立つ理由』(アフリカ・ラテンアメリカ等の紀行文)だろうか。上記の6冊の選評は2月1日付けの読売新聞に載っている。(『旅立つ理由』については私が書いています。)



<大口玲子さんとの対談会 2013.11.4>

## 「かば先生文庫」大人気！

昨年、平成 25 年 4 月に開設された「かば先生文庫」。

みなさんはもうご利用されましたか？

「かば先生文庫」には、一昨年お亡くなりになった宮崎市の小児科医、佐藤雄一先生のご家族から寄贈していただいた児童書が集められています。「かば先生文庫」は児童図書室と移動図書館車「やまびこ」内に設置されており、宮崎県内のたくさんの子どもたちに利用されています。

「かば先生文庫」には色々なジャンルの絵本や児童書がそろっています。凸凹がついていて触ることで絵を感じるのことができる点字絵本、羽や毛糸などで作られた手で触って楽しむ絵本など、紙の本とは違う楽しみ方ができるものもあります。そして、大型絵本や以前は貸し出しをしていなかった図鑑類も、「かば先生文庫」から借りられるようになりました。また、エプロンシアターという、エプロンを舞台に見立てて繰り広げられる立体的な絵本を「やまびこ」にそろえ、「やまびこ」の訪問先で行う読み聞かせや、昨年 11 月の図書館フェスタでエプロンシアターを実演し、たくさんの方に楽しんでいただきました。

カバが大好きで、色々なカバグッズを収集されていたことから、親しみを込めて「かば先生」と呼ばれていた、佐藤先生。「かば先生文庫」では、佐藤先生が大好きだったカバのお人形たちが、たくさんの絵本や児童書とともに、今日も子どもたちをお出迎えしています。

新年度には、また新しい本が「かば先生文庫」に仲間入りします。みなさんもどうぞ「かば先生文庫」へ！



## 企画展「杉田文庫の世界」

宮崎県立図書館では、故杉田正臣氏から昭和 59・60 年度の 2 年間にわたり書籍を中心に総計 11,518 点の資料の寄贈を受けています。同氏(号・井蛙)とその先代にあたる杉田直(号・作郎)氏は父子二代にわたって眼科医として活躍のかたわら、全国を舞台に文学・俳諧で業績を積み、また各界・各層の政治家・文人たちとの交流にともなう書簡・短冊・色紙・書画などを蒐集されており、県内所在の研究資料としては貴重なものと言えます。

杉田文庫に関する展示は、これまでも開催してきましたが、今回は、そのほとんどが未公開である藩札に関する展示を実施しています。日向諸藩の藩札に関する研究は進んでいるとは言えず、体系的研究はなされていません。そこで、延岡藩、高鍋藩、佐土原藩の日向諸藩の藩札に加え、日向国以外の藩札、明治時代の太政官札・民部省札といった杉田文庫の収蔵品と、さらに中世から近世にかけての銭貨を参考展示することで、日向国の藩札研究の進展を図り、同時に中世から近代にかけての日向国の経済について考えることを目的としました。

近年、経済に関する関心が高まり、経済教育の重要性が説かれるようになってきています。このような状況において、本展を開催することで、県民の方々に先人たちの経済・金融活動の実態を知っていただき、この分野への関心を高めていただければ幸いです。



## 移動図書館車「やまびこ」1年の軌跡

移動図書館車「やまびこ」は、県立図書館から離れたところに住んでいる方や、子どもたちに読書の場を提供するために本棚を備えた車で、「動く図書館」です。いつも巡回前に各訪問先からリクエストをもらうのですが、今年度は700冊以上の要望がありました。これらの図書については事前に「やまびこ」用のBM書庫（蔵書5万冊）から図書を探し、各訪問先に貸し出しを行いました。

また、今年度は車内書架に「かば先生文庫コーナー」を設置しました。人気の児童書はもちろんのこと、触って楽しむ絵本や子どものための大活字本・点字本、大型絵本なども貸し出しました。なお、要望のあった学校では、図書館職員による読み聞かせを行っているのですが、「かば先生文庫」で購入したエプロンシアターも行ったところ、子どもたちにとっても喜ばれました。

さらに、NHK 宮崎放送局と連携して、「やまびこ」の巡回にアナウンサーやキャスターの方が同行し、巡回先の学校で読み聞かせを行いました。熱心に聞き入る子どもたちのまなざしや、発音や早口言葉に一生懸命取り組む姿が印象的でした。

「やまびこ」の巡回は昭和29年1月に始まり、平成26年で60年目の節目の年となります。歴代の「やまびこ」の活動に思いをはせつつ、県内を巡ります。



明星視覚支援学校での貸出の様子



諸塚村立七ツ山小学校でのNHK読み聞かせ

## 第3回緑陰コンサート「クリスマスコンサート」を開催しました♪



柏田ゆかりさんのピアノ演奏



サプライズ企画キッズゴスペルクルー



蘭田潤子さんの朗読

昨年12月22日（日）午後5時から、1階ロビーで今年度の第3回緑陰コンサートを開催しました。今回は「クリスマスコンサート」として子どもから大人まで約140名の方に御来場いただきました。

会場にクリスマスイルミネーションを飾り、陽が傾くにつれキラキラと輝き始めた装飾の中で、まずは第1部、柏田ゆかりさんのピアノ演奏が行われました。古典から現代曲までの耳になじんだ数々の曲で来場者を魅了し、（クリスマスの）雰囲気盛り上げていただきました。

第2部は蘭田潤子さんが『ろくでなしのサンタ』（浅田次郎著『鉄道員』より）の朗読を行いました。スポットライトの中で感情豊かに朗読をされる蘭田さんの声は会場全体を温かく包み込み、聞き手をストーリーの世界に引き込んでいきました。第3部は柏田さんのピアノ演奏と、サプライズ企画として柏田さんが指導されているキッズゴスペルクルーの5人の子どもたちによるアカペラから手拍子がわき起こる賑やかな曲が披露され、会場が一体となりました。

来場者からは「とても素敵なクリスマスプレゼントを頂いたように幸せでした。」「この時期にぴったりのピアノ演奏やお話にとっても酔いしれました。」「宮崎に来て初めてのクリスマスです。本当に心が温かい気持ちになりました。」など、沢山の御感想をいただきました。

皆さん、素敵な時間を本当にありがとうございました。

来年度も3回の緑陰コンサートを開催する予定です。是非お越しください。





## ■ 新しいスタートを迎えるみなさんへ

年度末や年度始めは、学校や職場の環境が大きく変化し、期待や不安で複雑な心境になる季節です。そんなときは、図書館にある関連本も参考になるかもしれません。新しい人間関係や生活環境に十分に備えましょう。

### 『「君に任せよう」と思われる ビジネスマナー大全』

ストラテジックマナー協会著(株式会社宝島社)

「学生と社会人の違いとは?」「席次を知らずに接待なんてありえない!!」など、ビジネスマナーの基礎から、社会人としての心構えや常識、仕事をスムーズにこなすためのちょっとした工夫まで、知っておくべき“社会人の常識”を凝縮! 就活生、新社会人、若手ビジネスパーソンのためのビジネスマナー基礎講座。



#### ～関連図書～

- 『新入社員の基本がわかる86のルール』  
寺松輝彦著(ダイヤモンド社)
- 『人づきあいの教科書』  
宮崎聡子著(朝日香出版社)

### 『これが正解! ひとり暮らし スタートブック』

主婦の友社編(主婦の友社)

ひとり暮らしを始めるにあたって必ず知っておきたい知識を一冊に。引越越し準備から料理、家事、インテリア、防犯・防災対策から冠婚葬祭マナーまですべて網羅。



#### ～関連図書～

- 『頑張れ! ひとり暮らし』  
生活能力向上委員会著(ナツメ社)
- 『男子家事』  
料理・洗濯・掃除の新メソッド!  
阿部絢子監修(マガジンハウス)

### 『今日から始める 楽しい短歌入門』

江田浩司著(実業之日本社)

短歌は三十一音で表現する「自分史」。五七五七七の三十一音で書くという基本的なルールを守りさえすれば、いつでも、どこでも「自分史」を書き始めることができる。つくり方はもちろん、基礎知識、鑑賞の仕方までわかりやすく解説した、最適な手引き書。



#### ～関連図書～

- 『50歳からの勉強法』  
童門冬二著(サンマーク出版)
- 『40歳から  
毎年1つずつ資格を取ろう!』  
木下洋志著(エール出版社)

## ● 図書館利用マナーアップのお願い

お互いに気持ちよく利用できるよう、皆様の御協力をお願いします。

- 返却期限は守りましょう! (新たな貸出ができない場合があります。)
- 図書館資料は大切に! (資料を汚損・破損・紛失した場合は弁償していただくことがあります。)
- 読み終えた本はもとの場所に (場所がわからないときはカウンター職員までお願いします。)
- 館内ではお静かに! (他の人の迷惑になります。)
- 飲食は禁止です! (2階「みどりの談話室」を御利用ください。)
- 携帯電話は禁止です! (電源を切るかマナーモードに、通話は閲覧室や児童図書室の外でお願いします。)



### ご利用案内

開館時間 ■一般閲覧室: 9:00~19:00  
(日曜・祝日は9:00~17:00)  
■児童図書室: 9:00~17:00  
休館日 ■毎週月曜日(祝日の場合翌日火曜)  
年未年始 12/29~1/4

### 編集・発行

#### ● 宮崎県立図書館

住所 ■〒880-0031 宮崎市船塚3丁目210番地1  
TEL ■0985-29-2911 (総務・企画課総務担当)  
FAX ■0985-29-2491 (総務・企画課総務担当)  
HPアドレス ■<http://www.lib.pref.miyazaki.lg.jp>  
携帯アドレス ■[http://www.lib.pref.miyazaki.lg.jp/i\\_index.htm](http://www.lib.pref.miyazaki.lg.jp/i_index.htm)

